

## 『台風15号、寄ってっ亭を襲う！』

9月24日に猛威をふるった台風15号。清水区も多大な被害を受け、2か月以上経った今も一部ではまだその痕跡を残しています。

廃棄物置き場となった公園もいまだに使用不可となっております。

一日でも早く、子ども達が目一杯走り回っていた公園に戻ってほしいです。

泉の会でも「寄ってっ亭」が床上浸水しましたが、ご近所の皆さんも片付けに駆けつけてくださり、早急に利用できるようになりました。大変助かりました。ありがとうございました。



一階ではミシンの音や編み物をしながらの会話が弾んでいます。

二階では元気なご近所さんたちが卓球をやっています。時折、楽しそうな笑い声も聞こえます。



## 『いつでもおいで！平日もこども<sup>ち</sup>っ家』

7月より、月2回開催している居場所「こどもっ家」に加え学校がある平日にも利用できるように静岡市社会福祉協議会の協力の元、ボランティアを常駐していつでも利用できる「常設こどもっ家」を作りました。

体調面、精神面、色んな理由で学校に行けない子達。引きこもらずにすむよう、家と学校の他に居場所があって、だんだん学校に行けるようになればいいよね、そんな思いから開設しました。



「常設こどもっ家」に協力してくれている学生ボランティアの植田一成さんの声です。



こどもっちをたのしいところに人がくるところにするには

- ・おもいこみをなくす・あそびどうぐをふやす
- ・自由にあそべるようにする・いきやすいところにする

ある日、常設こどもっ家に来た子が書いて残していつてくれた言葉。

私は常にこれらの言葉を心の中心に置いている。

「おもいこみをなくす」というのは、まさに私含めろくでもない「大人」に刺さる言葉だ。

「枠」に押し込め、決めつける。こうであるべきだ。こうに違いない。

勝手に期待して、勝手に裏切られた気持ちになる。間違った経験の使い方もある。

そこに、こども達の心を「想像」する余地はあるだろうか？

私は、私がこの活動を通してできることは「信じて待つ」。それしかないと思っている。

粛々と伝え続ける言葉、思い、行動、生き方。

それをどう受け取ろうともその子次第。私にどうこうする権利などない。

「これでいいのか?」「本当に信じて待つだけでいいのか?」「ここはいきやすいところになっているかな?」「ここにきてあの子はなにを感じているだろう?」「どうしたら心に寄り添えるだろうか?」悩みは尽きない。

ただ、その悩みと付き合うことをせずに、「コントロール」しようとする事。

これだけは絶対にしたくない。

そんなことを思いながら私はひとりのんびり椅子に座ってるだけの日もある。今日は来るかな～。

(植田一成)

### 《インスタグラムより活動の様子》



工作好きなこども達。

小さな手で器用に作ります。

❀開いてます❀

「こどもっ家」 ★月2回。土曜と学校の代休日

「常設こどもっ家」 ★平日の月～金



気軽にお問い合わせください。

[kodomocchi2017@yahoo.ne.jp](mailto:kodomocchi2017@yahoo.ne.jp)



## 『デイサービスのお昼ごはん』

毎日おいしい手作りごはんです♥



## 『お知らせ』

令和4年7月より<sup>しらつちゆり</sup>白土由利が理事長に就任致しました。

至らぬ点はまだまだありますが小規模なホームの利点を生かし、迅速な対応を心がけてスタッフ一同頑張りますのでよろしくお願いいたします。



IZUMINOKEROKO



\* デイサービス

\* 入居利用者

募集中！

住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17

電話番号 054-367-2878

F A X 054-367-2884

ホームページ <https://www.npo-izuminokai.com/>

★編集後記★コロナに加えてインフルエンザも流行ってきました。免疫力を下げないようにまずは体を冷やさないように心がけてます。

発行責任者 藤下 品子  
三浦 香織